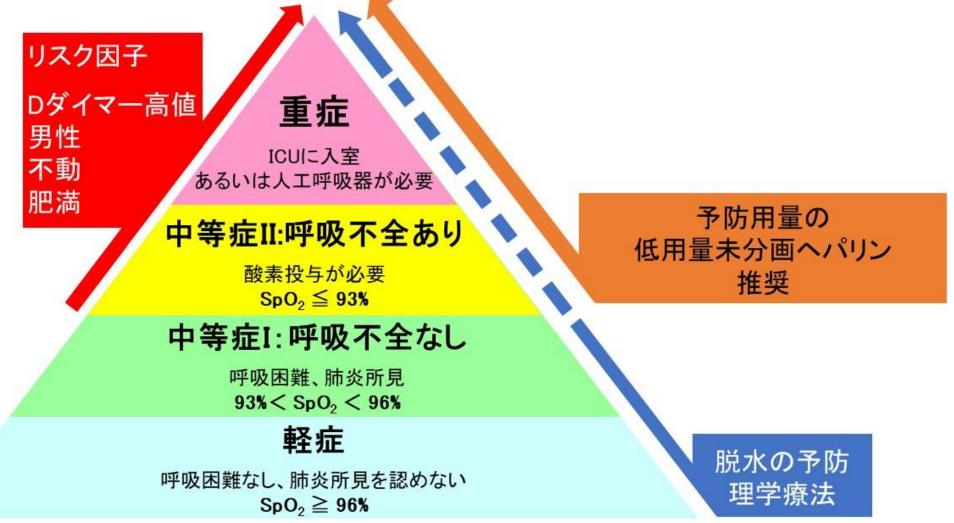
# 20221105COVID診療指針 Ver 4.0追加図

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)における 血栓症予防および抗凝固療法の診療指針

(Version 4.0 日本静脈研究学 肝本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本循環器



- \*重症化した場合は、重症度に準じて管理する。
- \*\*Dダイマー高値、男性、不動および肥満は高リスクとなる。

所型コロナウイルス感染症(COVID-19)における血栓症予防お にび抗凝固療法の診療指針Ver.4.0.pdf (js-phlebology.jp)

\*\*\*中等症IIの出血低リスク患者に於いて、D-dimer高値および病状が悪化し重症化リスクが高い症例では、治療用量の未分画へパリンは考慮されうるが、治療用量は予防用量より出血リスクが高いことに留意する。

## 新型コロナウイルス感染症に対する血栓症予防および抗凝固療法の診療指針

#### 軽症

(呼吸困難なし、肺炎所見を認めない)

抗凝固療法を推奨しない\* 脱水の予防、理学療法を基本とする

中等症1:呼吸不全なし

(呼吸困難、肺炎所見)

抗凝固療法を推奨しない\* 脱水の予防、理学療法を基本とする

中等症II:呼吸不全あり

(酸素投与が必要)

抗凝固療法を推奨する\*\* 予防用量である低用量未分画へパリンを推奨する\*\*\*

#### 重症

(ICUに入室あるいは人工呼吸器が必要)

抗凝固療法を推奨する 予防用量である低用量未分画へパリンを推奨する

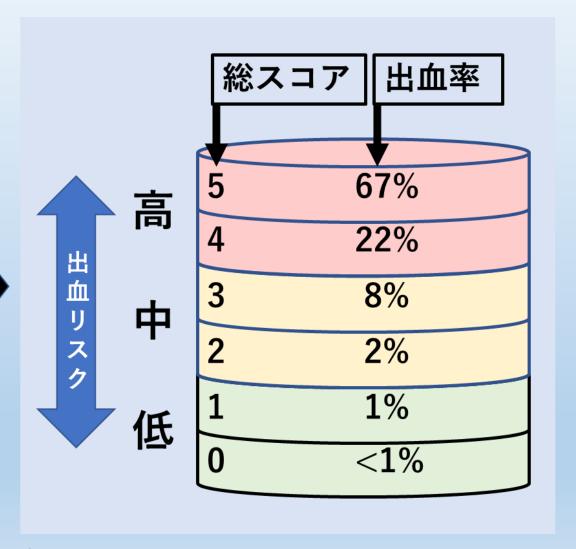
- \*なお重症化した場合は、重症度に準じて管理する。
- \*\*Dダイマー高値、男性、不動および肥満は高リスクとなる。
- \*\*\*中等症IIの出血低リスク患者に於いて、D-dimer高値および病状が悪化し重症化リスクが高い症例では、治療用量の未分画へパリンは考慮されうるが、治療用量は予防用量より出血リスクが高いことに留意する。

## COVID-19の出血関連要因とスコア別出血リスク

### 出血関連要因と個別スコア

個別 スコア 要因	0	1	2
大出血の 既往	無し	有り	
COVID-19 重症度 (入院時)	軽症 (酸素不要)	中等症(要酸素)	重症 (人工呼吸器 /ECMO)
抗凝固 療法	無し	予防量 ヘパリン* or warfarin or DOAC	治療量 ヘパリン**

総スコア別出血リスク



(Nakamura J, Tsujino I, et al. Thromb J. 2022;20(1):53.)

<sup>\*</sup>低用量固定投与、\*\*APTTが治療域に入るように投与